

◆大会企画委員会の活動報告

大会企画委員会 委員長 和田 光平

日本人口学会第69回大会が東北大学(宮城県仙台市)において2017年6月10日(土)、11日(日)(12日(月)は巡検)にわたり開催されます。大会プログラム日程は下記のとおりです。

大会プログラムや各発表の報告要旨などはすべて学会のホームページから入手できます。今回は英語セッションも設定されています。また、東北の人口問題をテーマにしたシンポジウムのほか、今回は、東日本大震災の被災地の巡検も予定されています。

非会員の参加も歓迎しておりますので、人口に関心のある研究者や学生の皆さんにもお声掛けいただき、お誘いあわせのうへご参加ください。

日本人口学会 第69回大会

【第1日 2017年6月10日(土)】

8:30 ~ 受付

午前の部 9:30~

企画セッション① 人口・家族の地域性:歴史的観点からの都市と農村の比較
テーマセッション① 主観的データを用いた人口学的研究

自由論題 A-1 未婚

自由論題 A-2 人口転換

自由論題 B-1 出生

自由論題 C-1 死亡・疾病①

自由論題 C-2 死亡・疾病②

午後の部 3:30 ~ 16:30

公開シンポジウム

東北の人口問題:過去、現在、そして未来?
—災害と共に生きてきた人々—

17:00 ~ 18:30 開催校挨拶/ 会員総会/ 会長講演

19:00 ~ 21:00 懇親会

【第2日 2017年6月11日(日)】

8:30 ~ 受付

午前の部 9:30~

企画セッション② (英語セッション)東アジアの少子化と女性の就業

Panel session Low Fertility in East Asia and Women's Employment

企画セッション③ 第15回出生動向基本調査からみた日本における結婚・出生

自由論題 D-1 ラオス

自由論題 E-1 結婚・離婚

午後の部 13:30 ~

企画セッション④ (日本語/英語の併用セッション)

少子化を巡る意識と家族・労働政策の国際比較

Panel session Comparative study on people's perception of fertility decline and its relationship with the family and labor market policies

企画セッション⑤ 出生の生物人口学

自由論題 F-1 就業

自由論題 F-2 移動

自由論題 G-1 地域人口推計

自由論題 G-2 人口統計

自由論題 H-1 東アジア

自由論題 H-2 地域人口分析

【2017年6月12日(月)】 東日本大震災被災地の巡検

◆学会賞選考委員会の活動報告

学会賞選考委員会 委員長 小島 宏

本委員会の任務は、2018年大会で授与される第16回学会賞(日本人口学会賞、優秀論文賞、普及奨励賞、学会特別賞の各賞)受賞者の予備選考を行い、その結果を理事会に報告することである。第16回学会賞の各賞は、本委員会の報告を受けた理事会が、審議を経て決定する。

なお、各賞選考対象著作物の刊行時期等と選考方法は、以下の通りである。会員の積極的な推薦を期待するものである(2017年11月30日までに学会賞選考委員会 award@paoj.org 必着)。

(1)第16回学会賞の選考対象は、2015年1月1日~2016年12月31日の2年間(刊行物の奥付による)とする。

(2)学会賞:共著を含む著書を対象とし、人口研究に対する貢献を表彰する。

(3)優秀論文賞:論文を対象とする。若手の育成・奨励のため、若手優先として、当該論文だけでなく、過去の業績を参考、または将来の期待度を加味して選考を行う。また、優秀論文賞は1編に限らず、ある基準以上の優秀な論文であれば、積極的に複数受賞しても良い。

(4)普及奨励賞:翻訳書・研究調査報告書・一般啓蒙書等を対象とする。

(5)学会特別賞:選考対象期間に刊行された著書を含み、これまでの過去の研究業績により、日本の人口学の発展に顕著な貢献を行ったと認められる会員を対象とする。

(6)第16回学会賞の選考方法について

- ① 推薦方法について:
 - ・メール、ホームページ、『会報』により募集する(「推薦書」様式はホームページよりダウンロード可能)。
 - ・推薦と評価とは別のものであり、推薦はあくまで選考対象を把握するソースとして利用する。
- ② 情報収集の範囲:
 - (1)『人口学研究』掲載論文
 - (2)会員の申告による業績(『人口学研究』収載)
 - (3)会員からの推薦
 - (4)学会賞選考委員の推薦
- ③ 選考対象となるもの
 - ・単著ならびに共著の学術図書ならびに論文を対象とする。
 - ・編著は、執筆者の過半数が会員である著作物を対象とする。
 - ・人口学研究に資する公表・公開されたデータベースも対象とする。
 - ・学術的に認知されたウェブ上に公開されるウェブジャーナルも対象とする。
 - ・論文は研究論文のみを対象とし、研究ノートは含まない。
- ④ 選考基準
 - ・論文は査読付きを優先とする。

◆編集委員会

編集委員会 委員長 林 玲子

『人口学研究』第53号は現在編集中で、2017年9月に刊行予定となっています。また、人口関係研究文献情報の登録も、5月末を締め切りとしていますが、皆様の登録をお待ちしています。オンライン・バージョンは、現在、CiNiiからJ-STAGEへの移行のため、アクセスしにくい状況となっており、ご迷惑をおかけしますが、お待ちいただけますようお願いいたします。また、第53号より、冊子刊行と共にPDFもオンライン提供することを予定しております。ただし、6か月間はパスワードで保護することになっており、会員のみなさまには冊子送付時にパスワードをお知らせします。

◆総務委員会

総務委員会 委員長 石井 太

2017年4月22日(土)に場所 国立社会保障・人口問題研究所にて第3回理事会が開催されたところ、概要は以下の通り。

① 会員の異動状況について(総務委員会)

2017年3月末時点

通常会員305名、学生会員33名、名誉会員10名、団体・賛助会員5団体、特別会員3団体

② 地域部会からの提案と確認(地域部会(総務委員会代読))

地域部会長の原理事より、現在、理事から外れている地域部会長を指名理事とする旨、提案があった。これは以前、そのようにしていたものであったものの、人口学会の財政状況が悪化した時期に予算上の理由から廃止となっていた措置であり、今般の財政状況に鑑み、これを再度、元に戻す趣旨である旨、提案があったところ、全会一致で了承された。

役員名簿(2016-17年度)

役 職 (担 当)	氏 名	所 属
会 長	金子 隆一	国立社会保障・人口問題研究所
副会長 (大会担当)	黒須 里美	麗澤大学
理 事 (総務委員会)	石井 太	国立社会保障・人口問題研究所
理 事 (編集委員会)	井上 孝	青山学院大学
理 事 (総務委員会)	岩澤 美帆	国立社会保障・人口問題研究所
理 事 (研究企画委員会)	加藤 久和	明治大学
理 事 (学会賞選考委員会)	小島 宏	早稲田大学
理 事 (国際交流委員会)	鈴木 透	国立社会保障・人口問題研究所
理 事 (広報委員会)	中澤 港	神戸大学
理 事 (国際交流委員会)	永瀬 伸子	お茶の水女子大学
理 事 (編集委員会)	林 玲子	国立社会保障・人口問題研究所
理 事 (地域部会担当)	原 俊彦	札幌市立大学
理 事 (大会企画委員会)	和田 光平	中央大学
監 事	新田目夏実	拓殖大学
監 事	小池 司朗	国立社会保障・人口問題研究所

<理事/監事:五十音順・敬称略>

会員の異動

2017年3月末時点

通常会員305名、学生会員33名、名誉会員10名、団体・賛助会員5団体、特別会員3団体

日本人口学会 会報 第73号 2017年6月発行 編集発行責任: 日本人口学会2016~2017 年度総務委員会

日本人口学会事務局連絡先:

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F一般社団法人学会支援機構内

TEL: 03-5981-6011 FAX: 03-5981-6012

E-mail: paoj@asas-mail.jp

http://www.soc.nii.ac.jp/paj/index.html